

2025年3月期 決算説明資料

2025年 4月30日
神奈川中央交通株式会社

2025年3月期 決算実績

売上高:1,181億円(対前年+0.9%)、営業利益:73億円(対前年△1.7%)

親会社株主に帰属する当期純利益は50億円(対前年+55.8%)、ROEは9.1%に改善(対前年+2.8P)

売上高:旅客自動車事業における運賃改定効果が通期寄与したことなどにより増収

営業利益:上記増収も、従業員の待遇改善や設備投資拡大による減価償却費の増加により減益

当期純利益:前期に計上した減損損失の反動減に加え、コロナ禍以降の業績回復を勘案し、繰延税金資産の一部を再計上

旅客自動車事業	不動産事業	自動車販売事業	その他事業
売上高:572億円(+22億円)	売上高:67億円(+5億円)	売上高:385億円(+11億円)	売上高:307億円(+14億円)
営業利益:27億円(△2億円)	営業利益:21億円(△3億円)	営業利益:14億円(+2億円)	営業利益:13億円(+4億円)
◆運賃改定効果が通期寄与 ◆車両代替などの投資を拡大 ◆人件費や減価償却費が増加	◆新規賃貸施設をオープン ◆戸建分譲の販売戸数が増加 ◆賃貸施設の修繕費が増加	◆商用車販売および輸入車販売の販売単価が増加 ◆車両整備収入が増加	◆車載器などの部品販売が増加 ◆資源リサイクル品の単価増加 ◆不採算店舗を閉店し増益

2026年3月期 連結業績予想・配当予想

売上高1,197億円(+1.3%)、営業利益48億円(△34.1%)、当期純利益25億円(△50.4%)

売上高:戸建分譲の推進により増収

営業利益:従業員の待遇改善や設備投資拡大による減価償却費の増加により減益

当期純利益:前期に繰延税金資産を再計上したことの反動もあり減益

1株当たり90円を予想

前期同額の配当を継続

連結配当性向 43.8%

2025年3月期 決算概要

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減
売上高	118,149	117,067	1,082 (0.9%)
旅客自動車事業	57,219	54,967	2,252
不動産事業	6,723	6,130	593
自動車販売事業	38,586	37,387	1,199
その他の事業	30,788	29,385	1,402
調整額	△ 15,168	△ 10,803	△ 4,365
営業利益	7,388	7,516	△ 128 (△ 1.7%)
旅客自動車事業	2,799	3,027	△ 228
不動産事業	2,179	2,570	△ 390
自動車販売事業	1,405	1,176	229
その他の事業	1,375	954	420
調整額	△ 371	△ 211	△ 159
経常利益	7,745	7,747	△ 2 (△ 0.0%)
親会社株主に帰属する当期純利益	5,083	3,262	1,820 (55.8%)
1株当たり当期純利益	414.28円	265.88円	148.40円

2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表額)	増減
113,300	4,849 (4.3%)
56,790	429
7,420	△ 696
33,660	4,926
29,800	988
△ 14,370	△ 798
4,520	2,868 (63.5%)
1,790	1,009
1,800	379
410	995
970	405
△ 450	78
4,420	3,325 (75.2%)
3,600	1,483 (41.2%)
293.36円	120.92円

売上高営業利益率	6.3%	6.4%	△ 0.1P
減価償却費	5,586	5,251	335
資本的支出	13,509	7,431	6,077
EBITDA(営業利益+減価償却費)	12,974	12,767	206
有利子負債／EBITDA倍率	4.8倍	4.4倍	0.4P
ROE	9.1%	6.3%	2.8P

4.0%	2.3P
5,850	△ 263
20,350	△ 6,840
10,370	2,604
7.4倍	△ 2.6P
6.5%	2.6P

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
営業外収益	993	744	249 (33.5%)	受取補償金+131 受取配当金+55
営業外費用	636	512	123 (24.0%)	支払利息+94
特別利益	1,093	169	924 (546.0%)	補助金収入+406 固定資産売却益+381 投資有価証券売却益+149
特別損失	2,344	2,907	△ 562 (△ 19.4%)	減損損失△1,441 環境対策引当金繰入額+438 固定資産圧縮損+394

(単位:百万円)

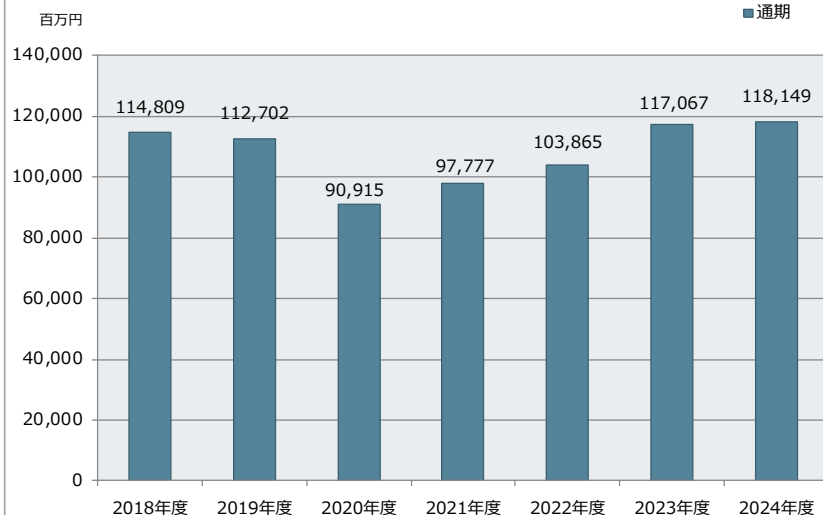
	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
流動資産	31,874	30,075	1,799 (6.0%)	商品及び製品+1,443
固定資産	133,570	129,115	4,454 (3.4%)	有形固定資産+5,513(車両運搬具他) 投資有価証券△1,203
資産合計	165,444	159,191	6,253 (3.9%)	
流動負債	56,952	49,346	7,606 (15.4%)	短期借入金+6,206 1年内償還予定の社債+5,000 リース債務△1,657
固定負債	45,089	50,138	△ 5,049 (△ 10.1%)	社債△3,000 繰延税金負債△1,368
負債合計	102,042	99,484	2,557 (2.6%)	
純資産合計	63,402	59,706	3,696 (6.2%)	利益剰余金+4,102 その他有価証券評価差額金△957
負債純資産合計	165,444	159,191	6,253 (3.9%)	
1株当たり純資産額	4,704.37円	4,449.74円	254.63円	
自己資本比率	34.9%	34.3%	0.6P	
有利子負債残高 (借入、社債及びリース)	61,876	56,338	5,537	借入金及び社債+7,238 リース債務△1,700

※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度より適用しており、2024年3月期に係る各数値については、当該会計基準等を遡及適用した後の数値になっております。

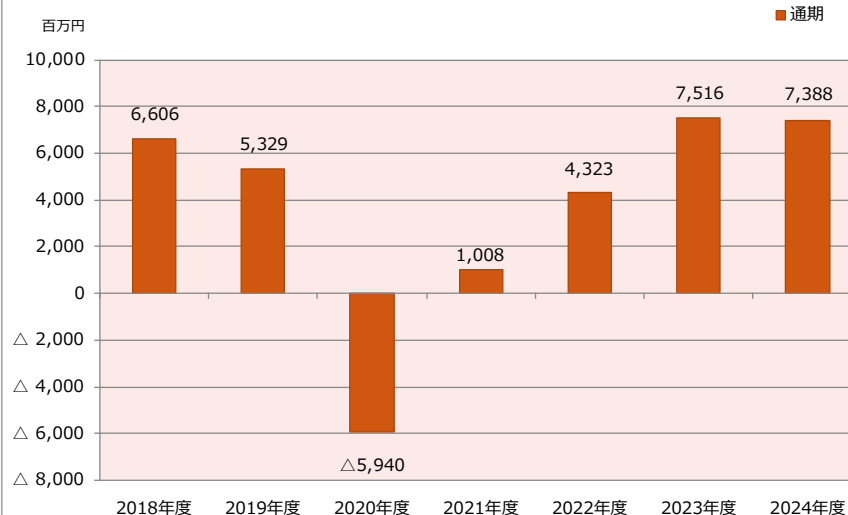
(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
営業キャッシュ・フロー	8,430	9,671	△ 1,241 (△ 12.8%)	仕入債務の増減額△2,264 未払消費税等の増減額△1,866 棚卸資産の増減額+2,417
投資キャッシュ・フロー	△ 12,739	△ 5,792	△ 6,947 (△ 119.9%)	固定資産の取得による支出△7,356
財務キャッシュ・フロー	5,412	△ 3,331	8,744 (262.4%)	短期借入金の純増減額+7,065
現金及び現金同等物の増減額	1,103	547	555 (101.5%)	
現金及び現金同等物の期末残高	4,272	3,169	1,103 (34.8%)	
フリーキャッシュ・フロー	△ 4,309	3,879	△ 8,188 (△ 211.1%)	

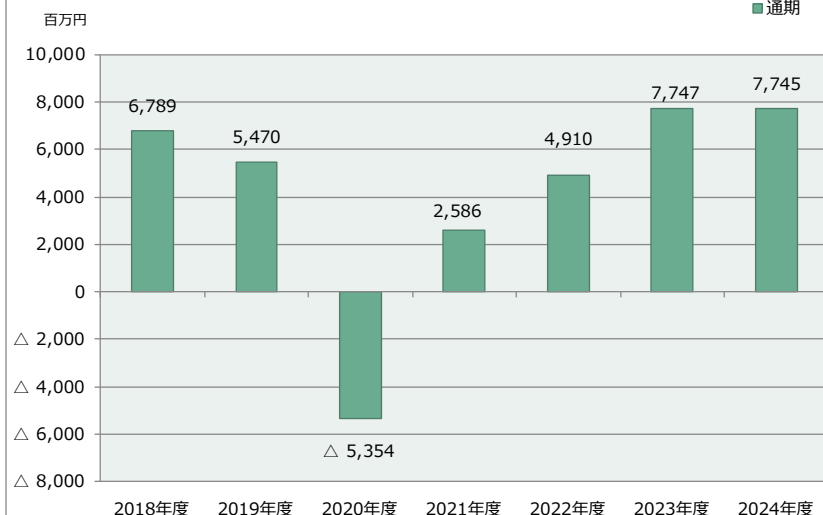
売上高



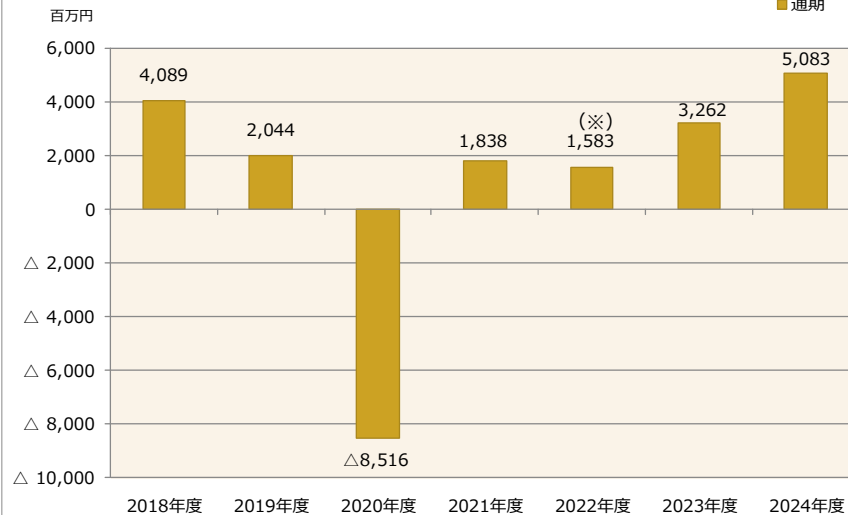
営業利益



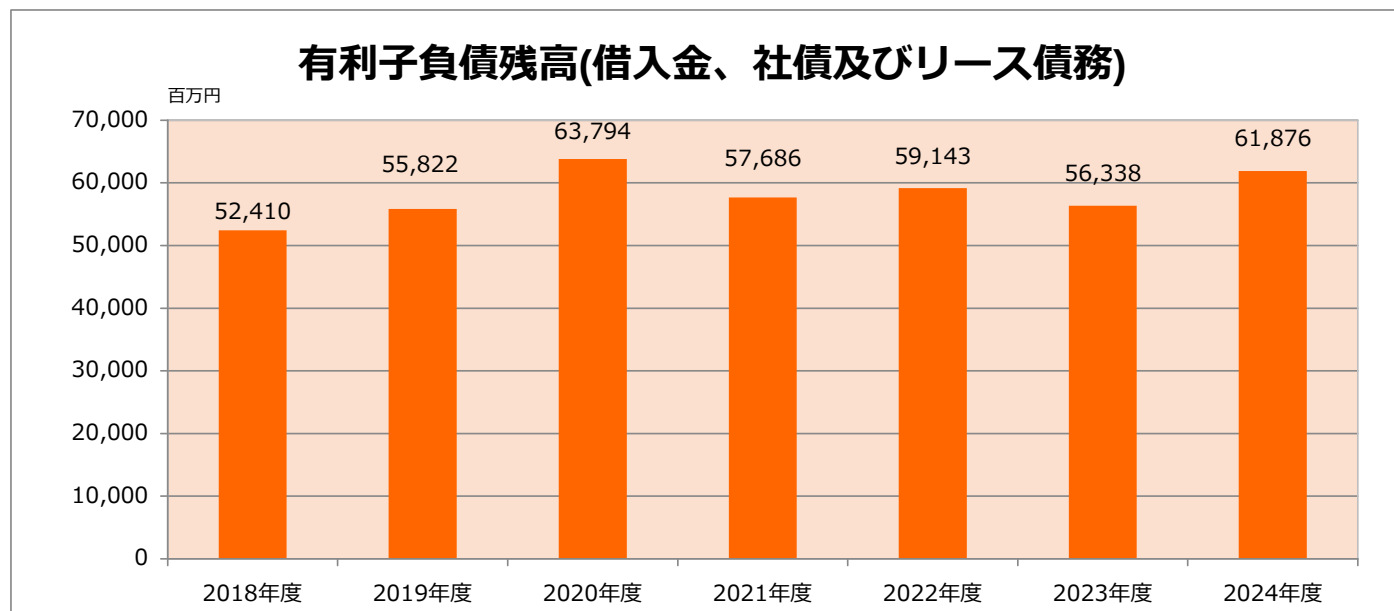
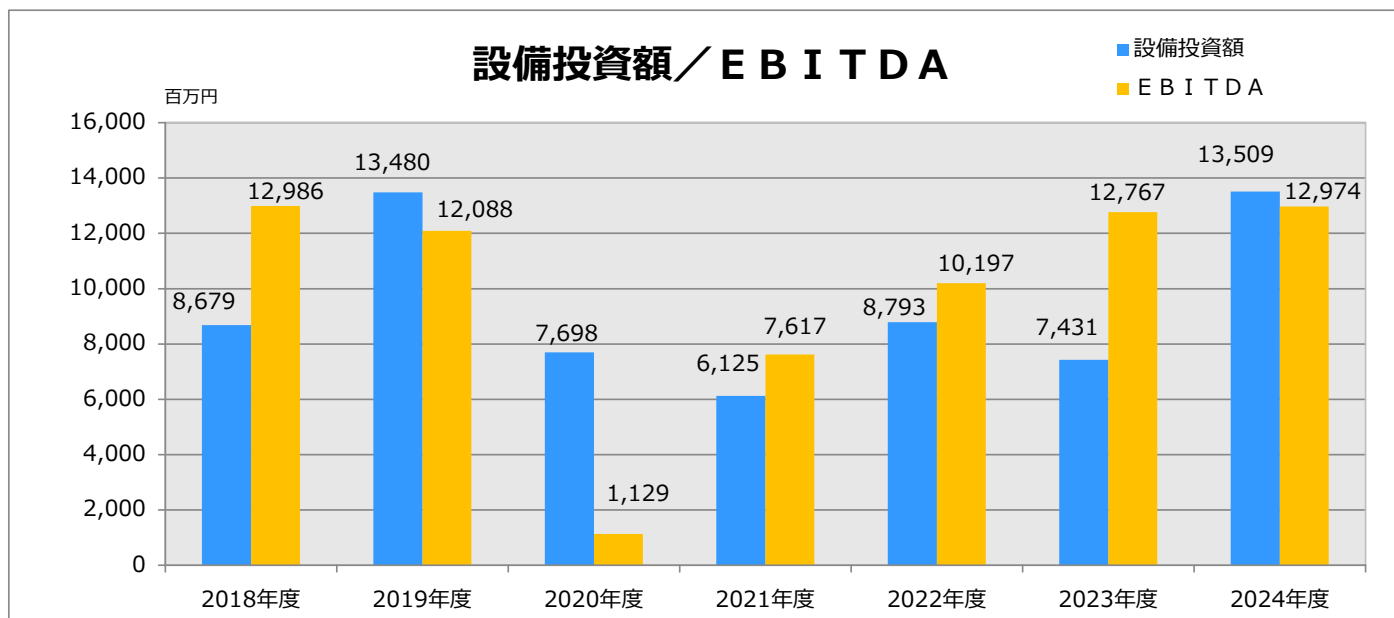
経常利益



親会社株主に帰属する当期純利益



※「法人税、住民税及び事業税等に関する会計基準」(企業会計基準第27号 2022年10月28日)等を当連結会計年度より適用しており、2022年度通期実績について、当該会計基準等を遡及適用した後の数値となっております。



神奈川中央交通グループ 子会社17社、関連会社2社
うち 連結子会社 17社
持分法適用会社 1社(大山観光電鉄(株))

〈主な連結会社〉

■ 旅客自動車事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神奈中観光(株)

■ 不動産事業

神奈川中央交通(株)、神奈中タクシー(株)、神中興業(株)

■ 自動車販売事業

神奈川三菱ふそう自動車販売(株)、神奈中相模ヤナセ(株)

■ その他の事業

神奈川中央交通(株)、(株)神奈中商事、(株)神奈中スポーツデザイン、
(株)神奈中情報システム、横浜ビルシステム(株)

- ・ 2024年7月1日に(株)アドベルは(株)神奈中商事を吸収合併し、「(株)神奈中商事」に商号を変更いたしました。
- ・ 2025年4月1日に神奈川中央交通(株)は神奈川中央交通東(株)および神奈川中央交通西(株)を吸収合併いたしました。

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
売上高	57,219	54,967	2,252 (4.1%)	乗合バス事業+1,309 貸切バス事業+243 タクシー事業+699
営業利益	2,799	3,027	△ 228 (△ 7.5%)	乗合バス事業△364 貸切バス事業+210 タクシー事業△74
資産	63,241	56,033	7,208	
減価償却費	3,592	3,046	546	
減損損失	—	—	—	
資本的支出	11,326	5,548	5,778	

2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表額)	増減
56,790	429 (0.8%)
1,790	1,009 (56.4%)

【対前年】

乗合バス事業は、前期に実施した運賃改定効果が通期寄与し増収、待遇改善による人件費や車両等の代替に伴う償却費の増加により減益
貸切バス事業は、前期に運賃改定を実施したことにより一車当たり収入が増加し、増収増益
タクシー事業は、営業単価の増加に加え、乗務員の採用増により稼働率が向上し増収、人件費や燃料費などの増加により減益

【対予想(2024年4月公表値)】

乗合バス事業は、旅客需要が想定を上回り推移したことや、減価償却費の減少により増収増益
貸切バス事業は、乗務員採用未達の影響で稼働率が減少し減収、人件費や燃料費などの減少により増益
タクシー事業は、営業単価の増加により増収増益

※参考 乗合バス事業輸送人員

(単位:百万人)

	2025年3月期	2024年3月期	増減率
定期外	136	139	△ 1.8%
定期	68	63	7.3%
合計	205	202	1.1%

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
売上高	6,723	6,130	593 (9.7%)	賃貸事業△3 分譲事業+596
営業利益	2,179	2,570	△ 390 (△ 15.2%)	賃貸事業△426 分譲事業+36
資産	48,544	47,624	920	
減価償却費	1,050	1,048	2	
減損損失	181	1,027	△ 846	
資本的支出	963	1,434	△ 470	

2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表額)	増減
7,420	△ 696 (△ 9.4%)
1,800	379 (21.1%)

【対前年】
賃貸事業は、新規賃貸施設をオープンしたものの、一部テナントへの賃料減額や修繕費の増加などにより減収減益
分譲事業は、湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数が増加したことにより増収増益

【対予想(2024年4月公表値)】
賃貸事業は、賃貸施設の修繕費が減少したことなどにより増益
分譲事業は、戸建分譲の販売計画未達により減収、販売経費の減少により増益

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
売上高	38,586	37,387	1,199 (3.2%)	商用車販売事業+536 輸入車販売事業+662
営業利益	1,405	1,176	229 (19.5%)	商用車販売事業+265 輸入車販売事業△35
資産	24,755	24,974	△ 218	
減価償却費	459	470	△ 11	
減損損失	—	15	△ 15	
資本的支出	812	364	448	

2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表額)	増減
33,660	4,926 (14.6%)
410	995 (242.9%)

【対前年】

商用車販売事業は、車両整備収入の増加により増収増益

輸入車販売事業は、高価格帯の販売台数が増加し増収、売上原価の増加により減益

【対予想(2024年4月公表値)】

商用車販売事業は、大型バスの販売台数が増加したことや、車両整備収入の増加により増収増益

輸入車販売事業は、販売台数が減少したものの、高価格帯の販売台数が増加し増収増益

※参考 新車販売台数

(単位:台)

	2025年3月期	2024年3月期	増減
トラック	1,726	2,106	△ 380
バス	249	163	86
輸入車	491	526	△ 35

(単位:百万円)

	2025年3月期	2024年3月期	増減・主な要因	
売上高	30,788	29,385	1,402 (4.8%)	流通事業+2,372 飲食事業△752
営業利益	1,375	954	420 (44.0%)	サービス事業(資源リサイクル他)+170 流通事業+138 飲食事業+57
資産	36,966	32,903	4,063	
減価償却費	484	686	△ 201	
減損損失	380	960	△ 580	
資本的支出	737	316	421	

2025年3月期 業績予想 (2024年4月公表額)	増減
29,800	988 (3.3%)
970	405 (41.8%)

【対前年】
流通事業は、バス運賃箱等の部品販売が増加したことなどにより増収増益
資源リサイクル事業は、リサイクル品の販売単価が増加したことなどにより増収増益
飲食事業は、前期に不採算店舗を閉店したことなどにより減収増益

【対予想(2024年4月公表値)】
流通事業は、バス中古車販売が増加したことなどにより増収増益
資源リサイクル事業は、リサイクル品の販売が減少したことなどにより減収、修繕費の減少などにより増益
ビル管理事業は、金融機関等における設備工事の受注が増加したことなどにより増収増益

2026年3月期 業績予想 (2025年4月30日公表値)

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減	主な要因
売上高	119,700	118,149	1,550 (1.3%)	
旅客自動車事業	57,640	57,219	420	乗合バス+143、貸切バス+91、タクシー+186
不動産事業	7,590	6,723	866	賃貸△343、分譲+1,209
自動車販売事業	38,780	38,586	193	商用車販売+39、輸入車販売+154
その他の事業	28,330	30,788	△ 2,458	流通△2,271、ビル管理△645、飲食+310
調整額	△ 12,640	△ 15,168	2,528	
営業利益	4,870	7,388	△ 2,518 (△ 34.1%)	
旅客自動車事業	1,700	2,799	△ 1,099	乗合バス△962、貸切バス△80、タクシー△57
不動産事業	1,640	2,179	△ 539	賃貸△646、分譲+107
自動車販売事業	770	1,405	△ 635	商用車販売△561、輸入車販売△74
その他の事業	1,090	1,375	△ 285	流通△157、ビル管理△111
調整額	△ 330	△ 371	41	
経常利益	4,650	7,745	△ 3,095 (△ 40.0%)	【営業外損益】 受取補償金減△120、支払利息増△259
親会社株主に帰属する当期純利益	2,520	5,083	△ 2,563 (△ 50.4%)	【特別損益】 減損損失減+561、環境対策引当金繰入額減+438
1株当たり当期純利益	205.36円	414.28円	△ 208.92円	

売上高営業利益率	4.1%	6.3%	△ 2.2P
減価償却費	6,590	5,586	1,011
資本的支出	15,800	13,509	2,295
EBITDA(営業利益+減価償却費)	11,460	12,974	△ 1,506
有利子負債/EBITDA倍率	6.5倍	4.8倍	1.7P
ROE	4.3%	9.1%	△ 4.8P

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減・主な要因	
売上高	57,640	57,219	420 (0.7%)	乗合バス事業+143 貸切バス事業+91 タクシー事業+186
営業利益	1,700	2,799	△ 1,099 (△ 39.3%)	乗合バス事業△962 貸切バス事業△80 タクシー事業△57
減価償却費	4,470	3,592	877	
資本的支出	8,890	11,326	△ 2,436	

【対前年】

売上高は、乗合バス事業においては、定期券利用を中心とした輸送人員の増加により増収
貸切バス事業およびタクシー事業においては、乗務員の採用増により稼働率が向上し増収
営業利益は、待遇改善による人件費や車両等の代替に伴う減価償却費の増加により減益

※参考 乗合事業輸送人員

(単位:百万人)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減率
定期外	137	136	0.3%
定期	71	68	4.3%
合計	208	205	1.6%

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減・主な要因	
売上高	7,590	6,723	866 (12.9%)	賃貸事業△343 分譲事業+1,209
営業利益	1,640	2,179	△ 539 (△ 24.8%)	賃貸事業△646 分譲事業+107
減価償却費	1,030	1,050	△ 20	
資本的支出	2,250	963	1,286	

【対前年】

賃貸事業は、契約終了に伴う賃料の減少や修繕費の増加などにより減収減益

分譲事業は、横浜・湘南エリアを中心に戸建分譲を推進し、販売戸数の増加により増収増益

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減・主な要因	
売上高	38,780	38,586	193 (0.5%)	商用車販売事業+39 輸入車販売事業+154
営業利益	770	1,405	△ 635 (△ 45.2%)	商用車販売事業△561 輸入車販売事業△74
減価償却費	540	459	80	
資本的支出	170	812	△ 642	

【対前年】

商用車販売事業は、トラックの販売台数増加により増収、売上原価の増加により減益

輸入車販売事業は、販売台数の増加により増収、売上原価の増加により減益

※参考 新車販売台数

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減
トラック	1,915	1,726	189
バス	242	249	△ 7
輸入車	574	491	83

(単位:百万円)

	2026年3月期 業績予想	2025年3月期	増減・主な要因	
売上高	28,330	30,788	△ 2,458 (△ 8.0%)	流通事業△2,271 ビル管理事業△645 飲食事業+310
営業利益	1,090	1,375	△ 285 (△ 20.7%)	流通事業△157 ビル管理事業△111
減価償却費	540	484	55	
資本的支出	4,640	737	3,902	

【対前年】

流通事業は、前期のバス運賃箱販売の反動により減収減益

ビル管理事業は、大規模ホール休館に伴う受託業務の減少やスポット工事の減少により減収減益

飲食事業は、喫茶業において新店出店による事業拡大や既存店舗のリニューアルを実施し増収

本資料に記載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社が現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいており、実際の業績は様々な要因により大きく異なる可能性があります。

<お問い合わせ先>

神奈川中央交通株式会社 経営戦略部 広報・IR担当 TEL:0463-22-8894